

平成22年度の下限予定利率改正 について(厚年)

対象先	DB年金	厚年基金	適格年金	退職金	その他
	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準	その他
内容					

ポイント

平成22年度における厚年基金の継続基準の予定利率を以下とする通知 改正が行われましたのでご案内します。

➤ 継続基準の下限予定利率：年1.3% (厚年基金)

「厚生年金基金の予定利率の下限等について」平成9年3月31日企国発第23号
DB年金の継続基準の予定利率、厚年・DBの非継続基準の予定利率については ニュースNo.206ご参照。

平成22年度の予定利率

- ✓ 継続基準における下限予定利率は、10年国債の直近1年平均(1.358%)と5年平均(1.536%)のいずれか低い率を基準に設定されています。
- ✓ 非継続基準における予定利率は、30年国債の直近5年平均(2.384%)を勘案して設定されています。

年度	適格年金 (下限予定利率)	厚生年金基金			確定給付企業年金	
		継続基準 (下限予定利率)	非継続基準		継続基準 (下限予定利率)	非継続基準
			代行部分(注) (転がし利率)	プラスアルファ 部分		
H20	1.6%	1.4%	3.10%	2.27% (1.816%~2.724%)	1.4%	2.27% (1.816%~2.724%)
H21	1.5%	1.5%	3.54%	2.44% (1.952%~2.928%)	1.5%	2.44% (1.952%~2.928%)
H22	1.3%	<u>1.3%</u>	6.83%	2.38% (1.904%~2.856%)	1.3%	2.38% (1.904%~2.856%)

(注) 下線部が今回明らかになった箇所。
非継続基準の代行部分は各年度の4月~12月に適用される率を表記(例 H21年度：4~12月 3.54%、翌1~3月 6.83%)。

以上